

令和7年度 第3回 広島支部評議会議事概要報告（速報）

開催日時	令和8年1月20日（火）13:00～15:00
場 所	広島支部 大会議室
出席議員	（学識経験者）鈴木 喜久、中野 幸恵 （事業主代表）石突 泰江、清水 美和子、中島 潤子 （被保険者代表）西岡 洋、宮城 和史（敬称略）
議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和8年度広島支部保険料率等について 2. 令和8年度広島支部事業計画（案）及び広島支部保険者機能強化予算（案）等について 3. 令和7年度広島支部事業計画の実施状況について（中間報告）
議事概要 （主な意見）	
議題1. 令和8年度広島支部保険料率等について	
<p>事務局より「令和8年度広島支部保険料率等について」、資料に沿って説明。個別の意見等については、以下のとおり。</p> <p>（被保険者代表）</p> <p>各支部の評議会では、令和8年度平均保険料率について、「平均保険料率10%維持と引き下げの両論」や「引き下げるべき」という意見よりも「平均保険料率10%維持」という意見の方が多かったが、厚労省より引き下げ要請があったことが引き下げにつながったのか。引き下げに至った経緯についてお伺いしたい。</p> <p>⇒ 各支部の評議会における意見を経年的にみると、ここ数年は「平均保険料率10%維持と引き下げの両論」の意見が増えてきている。協会としては、これまでの支部評議会や運営委員会での議論、政府における全世代型社会保障改革の議論、厚労省からの要請等を踏まえ、引き下げという結論に至った。</p> <p>（事業主代表）</p> <p>今回の健康保険料率の引き下げについては事業主として感謝したい。一方、介護保険料率の上昇及び子ども子育て支援金の導入により、人件費を上げるのは零細企業にとってどうしても負担感が大きいという印象が残る。健康保険料のさらなる引き下げを希望する。</p> <p>⇒ 健康保険料率をいかに引き下げるかが当協会の使命であると考えている。また、来年度の料率が0.19pt下がったのは事業主・加入者の尽力があってこそと思っている。健康保険料率を下げていくには、さらに事業主・加入者の協力が必要。協力いただくためには広報を行いさらに広く知っていただく必要がある。今回、健康保険料率が引き下げになったことについての広報に注力するとともに、さらなる引き下げにつながるよう、加入者及び加入事業所に周知していきたい。</p>	

(学識経験者)

平均保険料率の引き下げを行っても収支が赤字にならないということで、安心している。しかし介護保険料率の上昇、子ども子育て支援金制度の導入により、加入者における負担感は大きくならざるを得ない。それでも健康保険料率については引き下げとなったことについて広報に注力し、加入者にも認識いただければ良い。また、今後も健康保険料率が上がらないよう加入者への周知活動には協力させていただきたい。

(学識経験者)

インセンティブ制度について、全支部から 0.01%を財源として徴収するということは、金額ベースでは支部によって徴収される額が異なるということか。

また、上位 15 支部に付与されるインセンティブについての傾斜配分にかかる計算について説明いただきたい。金額ベースで振り分けられるのであれば、東京のような大規模支部では割合になおすと数字が小さくなるのではないか。

⇒ インセンティブ分については全支部から保険料率 0.01%分の原資をもとに、上位 15 支部に振り分けられるものであるが、振り分ける際には、各支部の実績にもとづいた得点のみならず、総報酬額も踏まえて 15 支部で按分するため、支部ごとの規模に応じた配分となる。

議題 2. 令和 8 年度広島支部事業計画（案）及び支部保険者機能強化予算（案）等について

事務局より「令和 8 年度広島支部事業計画（案）及び支部保険者機能強化予算（案）等について」、資料に沿って説明。個別の意見については、以下のとおり。

(学識経験者)

資料 2-2 「令和 8 年度 広島支部保険者機能強化予算等（案）について」に記載の「事業者健診結果データ欠損対策」の事業は良い取り組みであると考えており、ぜひ推進してほしい。健診個人票を共通の様式とすることで、他保険者とのデータ連携が円滑に行われる他、統計解析を行う際にも有効なものとなることが期待できる。

例えば、先日自身が防災に関する講習に参加した際の気付きになるが、避難者の情報収集を行うにあたって情報にばらつきがあり非効率であるとの問題点が指摘されていた。

今回の事業をうまく活用できれば、防災の分野等においても有効な取組となるのではないか。また、全国的にもこういった施策が広がっていくのが望ましい。

(被保険者代表)

資料 2-2 「令和 8 年度 広島支部保険者機能強化予算等（案）について」に記載の「広島県公共交通機関への広告掲載」の事業について、「健診事業を広く周知する」とあるが、具体的な内容について説明願いたい。また、交通広告については JR やバスを活用した広報が想定されるが、学生等、特定健診の対象ではない方が見てどう感じるか想定しているか。不

特定多数の方々が広報物を見る中で「特定健診」という言葉がどこまで理解してもらえるか。

⇒ これまでの受診勧奨では個別に加入者に対し直接案内を送ることに注力していたが、協会けんぽの事業の認知度が向上することで開封率の上昇に繋がり、さらなる受診率の向上に寄与するのではないかと考えた。

今後、特定健診や生活習慣病予防健診等のワードを認知していただくことで勧奨効果を高めるような広報を行いたいと考えている。

⇒ 具体的な手段や訴求するメッセージについては今後検討していくが、協会のブランディングに注力した広報とすることも考えている。

(被保険者代表)

「就活生等に対する健康経営意識調査」の事業についてであるが、意識調査の対象の学校等の要件は決まっているのか。「健康経営」というキーワードに対する意識は性別、学部によっても違うと考える。

学生における健康経営のイメージや認知度は気になるところ。調査結果が出たら共有してほしい。

⇒ 具体的なターゲットについては現在検討中である。すべての学校を対象に実施するというわけではない。

⇒ 支部としても、学生が健康経営というワードをどれほど認知しているのか、また就職活動におけるポイントとなっているのかについて事業を通して把握し、その結果を事業主に広報を通じてアピールしていきたい。

(被保険者代表)

「こども健康教育」の事業についての要望であるが、親の影響を意識して事業を実施してほしい。特に食育について注力してほしい。

また、「商業施設等での集団健診の実施」の事業について好評であると聞いている。この事業の機会を活用して、例えば LINE の周知チラシを配布するのはどうか。様々な機会を活用して、LINE 利用促進を行うようお願いしたい。

⇒ 「こども健康教育」については、親の存在を意識して実施していきたい。参観日等の機会を活用してメッセージを発信することも検討している。

広報について、LINE だけでなくけんぽアプリの周知に関しても注力していきたい。

(事業主代表)

健康宣言に関して、パソコン等によりインターネット上でエントリーができるようにしてほしい。また、「こども健康教育」について、こども園等に出向いて健康教育を行うことも検討いただきたい。

⇒ 健康宣言エントリーをウェブ上で行うことに関して、現在検討中である。

(学識経験者)

健診実施率等の KPI の設定はどのように行っているのか。

また、来年度、予算の資料を作成する際は、前年度予算額等を併せて示してほしい。事業をどのように見直したのか、どの点を重点的に実施したいかについても説明いただきたい。

⇒ KPIの設定については、本部の示す算出方法に基づき行っている。

また、健診等実施率に関する KPI 等のように国の目標を踏まえ本部から示されているものもある。

議題 3. 令和 7 年度広島支部事業実施状況について（中間報告）

事務局より「令和 7 年度広島支部事業実施状況について（中間報告）」の資料に沿って説明。
個別の意見等については、特段の意見なし。

特記事項

傍聴者 1 名（記者）

次回は令和 8 年 7 月に開催予定。